

第 3 回 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

1. 招集日時 令和3年3月4日(木)午後4時00分
2. 招集場所 七飯町文化センター202会議室
3. 出席者 委 員 山 川 俊 郎
委 員 加 屋 本 旬
委 員 菅 沼 由 美
委 員 信 夫 恵 美 子
4. 事務局 教 育 長 與 田 敏 樹
教 育 次 長 扇 田 誠
学校給食センター長 柴 田 憲
生涯教育課長 竹 内 圭 介
スポーツ振興課長 川 崎 元
学校教育課庶務係 矢 口 真 也
5. 教育長の報告 報告第1号 教育行政動向報告(2月8日~3月4日分)について
報告第2号 教育委員会事務局職員の人事異動について
6. 附議事件 議案第12号 令和2年度七飯町教育費補正予算に係る専決処理について
議案第13号 令和3年度七飯町教育費予算に係る専決処理について
議案第14号 令和3年度公立小中学校職員の人事異動内示について
7. その他
8. 承認事項 報告・議案は原案通り承認された。
9. 傍聴人等 なし
10. 閉 会 午後5時01分
11. 会議の概要 会議の概要は別紙のとおりである。
12. 署 名 教育長 與 田 敏 樹

委 員 菅 沼 由 美

調整者 矢 口 真 也

別紙

與田教育長 : ただいまから、令和3年第3回定例七飯町教育委員会会議を開催をいたします。

本日の会議録署名員につきましては、菅沼さんをお願いをいたします。

では、議事次第に沿って、3番目の教育長報告、報告第1号教育行政動向報告ということで、本日、配付をさせていただきました。

2月8日、定例教育委員会会議を開催しております。その後、総合教育会議を開催しております。

12日、渡島管内市町教育委員会教育長会議がしばらくぶりでございますが、渡島合同庁舎で開催をしております。内容は、先生方の働き方改革に伴って、変形労働時間制の関係で協議をいたしました。北海道教育委員会が令和3年度から、これを実施するというので規則改正をしたのですが、渡島管内全ての市町村、まだまだ周知をするには不十分な状況であるということで、全ての市町で1年間先送りをして、1年間かけて先生方に周知をすることとします。ただ、この変形労働時間制を導入することによって、先生方の働き方改革が進むということではございません。これは、併せて働き方改革をしていくということをしなければ、この変形労働時間制そのものも実施できない、結局、週45時間、年350時間、それを下回っていないとこの制度の導入もできないということなので、しっかりそれが下回れるように働き方改革を各現場段階で進めて、結果としてこの制度が導入できるようにしたいということで確認をしております。

17日、定例校長会議を開催して、記載の内容について情報提供をしております。

現在も開催しておりますが、2月17日から3月28日まで歴史館企画展「回展」についてということで展示しております。

19日、

【人事案件につき、会議録省略】

與田教育長 : 同じく、その日に大沼岳陽学校開校記念式典を開催しております。コロナ禍にありますので、これは地域の方々、教育委員の方々、一切呼ばないで子どもたちと先生方、町長と私と次長が出席をして校旗を町長から学校長に正式にお渡しをしたという内容でございます。

25日、定例教頭・主幹教諭会議を開催して、校長会と同様の情報提供をしております。

3月2日、一昨日からですけれども定例会が開催されています。本日で一般質問が終わりました。

以上で、この1か月間の教育行政動向について御報告をさせていただきました。御質問、御意見があればお受けいたします。

全員 : なし。

與田教育長 : ありがとうございます。

報告第1号教育行政動向報告については、報告済みとさせていただきます。

続きまして、報告第2号教育委員会事務局職員の人事異動について、事務局よりお願いいたします。

教育次長 : それでは、報告第2号教育委員会事務局職員の人事異動について、御説明いたします。

教育委員会事務局職員について、次のとおり人事異動に伴う事務分掌発令により、辞令交付を行っておりますので報告いたします。

【人事案件につき、会議録省略】

與田教育長 : 報告については以上でございます。

全員 : はい。

與田教育長 : ありがとうございます。

報告第2号教育委員会事務局職員の人事異動については、報告済みとさせていただきます。

続きまして、4、附議事件、議案第12号令和2年度七飯町教育費補正予算に係る専決処理について、事務局よりお願いいたします。

教育次長 : それでは、議案第12号令和2年度教育費補正予算に係る専決処理について、提案説明申し上げます。

令和2年度教育費補正予算を別紙のとおり町長に提出することについて、教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則、第2条第2項の規定に基づき、専決処理しましたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものでございます。

このたびの補正は、年度末までの決算を念頭とした執行残が見込まれるものなどの、いわゆる整理予算が主な内容でございます。

したがって、整理予算として全体で減額となる事業は総額を申し上げ、増額となる項目がある場合は、その項目を説明いたしますので御了承願います。

それでは、4ページを御覧願います。

10款教育費1項1目教育委員会費は、旅費から負担金補助及び交付金まで合わせて35万7,000円の減額、2目事務局費は事務局費、学校庶務として報償費から負担金補助及び交付金まで合わせて30万4,000円の減額、対外競技参加費は負担金補助及び交付金171万6,000円の減額、事務局費(学校教育)は、報酬から使用料及び賃借料まで合わせて121万5,000円の減額、事務局費(教育助成)は役務費負担金補助及び交付金合わせて35万6,000円の減額、スクールバス運行費これについては委託費550万円の減額、学校教育公用車管理費は需用費、役務費合わせて6万9,000円の減額、教員住宅管理費は役務費、使用料及び賃借料合わせて394万9,000円の減額、事務局費合計としましては1,310万9,000円の減額でございます。

続いて、2項1目学校管理費は学校管理費(小学校)として、需用費から負担金、補助及び交付金まで、合わせて603万2,000円の減額、児童保健衛生費は旅費、委託料合わせて75万4,000円の減額、校舎営繕費(小学校)は委託料のうち、2行目、学校敷地内除雪委託料は今後の除雪に対応するため40万円の追加となっております。その他の委託料から工事費までは合わせて1,290万3,000円の減額で、事業合計といたしましては1,250万3,000円の減額となっております。学校管理費合計として、1,928万9,000円の減額でございます。

6ページになります。2目教育振興費は、教育振興費(小学校)として備品購入費は特別支援教室で使用するホワイトボード等の購入のため、当該備品購入費26万8,000円の追加、同じくフロアケース等の購入のため、庁用器具購入費25万3,000円の追加、事業合計で52万1,000円の追加でございます。

3項1目学校管理費は、学校管理費(中学校)として、負担金補助及び交付金は7,000円の減額でございます。生徒保健衛生費は、報酬から委託料まで合わせて34万9,000円の減額でございます。校舎等営繕費(中学校)は、委託料のうち、1行目の学校敷地内除雪委託料、これにつきましては今後の小学校と同様に今後の除雪に対応するため、22万4,000円の追加をさせていただきます。その他の委託料から原材料まで合わせて299万9,000円の減額、事業合計としまして277万5,000円の減額でございます。

2目教育振興費は、教育振興費(中学校)として備品購入は特別支援学校で使用する回転式移動黒板の購入のため、また教材備品購入費15万9,000円の追加、同じくケース付きの小学校と同様にケース付き整理箱の購入のため、庁用器具購入費5万9,000円の追加、備品購入費合計が21万8,000円の追加で、扶助費が200万円の減額となっております。事業合計で178万2,000円の減額でございます。

生涯教育課長 : 続きまして、生涯教育課所管分の部分について、提案説明申し上げます。

4項1目社会教育総務費は、社会教育総務費として旅費から、次のページに移っていただいて負担金、補助及び交付金まで、合わせて5万2,000円の減額、生涯学習事業費は報償費から負担金、補助及び交付金まで合わせて22万9,000円の減額でございます。

次に、生涯教育公用車管理費は、燃料費で執行残が見込まれることから、需用費12万5,000円の減となっております。

続きまして、社会教育施設整備基金費は決算見込みにより積立金105万2,000円の追加、社会教育総務費合計で64万6,000円の追加でございます。

続きまして、2目文化振興費は、文化振興費として旅費は執行残により4万1,000円の減額、負担金、補助及び交付金は新型コロナウイルス感染状況により、全ての事業を開催することができなかつたため、七飯町文化協会補助金200万円の減額、事業費合計で204万1,000円の減額。文化講座事業は報償費で執行残が見込まれることから12万6,000円の減額です。

次に、図書室管理費は旅費で2,000円の減額です。公民館管理費は、委託料で大沼多目的会館の除雪費が不足することから、除雪委託料14万6,000円の追加、その他委託料では執行残が見込まれることから、合わせて1万4,000円の減となっております。事業費合計では、13万2,000円の追加となっております。文化振興費合計では、203万7,000円の減額でございます。

次に、3目社会教育施設振興費は、文化センター管理費として需用費、備品購入費合わせて81万5,000円の減額となっております。

大中山コモン管理費は、委託料で今後、除雪費の不足が見込まれることから除雪委託料17万2,000円の追加です。

次に、大沼婦人会館管理費は、旅費から委託料まで合わせて66万8,000円の減額、社会教育施設管理費は旅費から役務費まで合わせて57万1,000円の減額、社会教育施設振興費合計で188万2,000円の減額です。

次に、4目文化財保護費は、文化財保護費として報償費と旅費合わせて13万4,000円の減額、社会教育費合計で340万7,000円の減額となっております。

生涯教育課所管分は以上でございます。

スポーツ振興課長 : 続きまして、スポーツ振興課所管分について提案説明いたします。

スポーツ振興総務費として、報償費から負担金、補助及び交付金まで、合わせて41万6,000円の減額、体育施設管理費になりますが工事請負費6万5,000円の減額でございます。

それと、スポーツ合宿事業費、こちらについては財源の更生ということで、事業費に変更はありませんので、変わらないということになります。全体で、48万1,000円の減額ということでございます。

以上でございます。

給食センター長 : それでは、学校給食センター所管分について、御説明いたします。8ページになります。

2目学校給食費は、学校給食センター運営費として報酬から扶助費まで、合わせて587万円の減額です。

以上でございます。

與田教育長 : それでは、議案第12号令和2年度七飯町教育費補正予算に係る専決処理について提案説明をいただきました。明日、本会議に諮る予定をしております。御意見、御質問等ございますか。

山川委員。

山川委員 : ちょっと教えてください。

6ページです。軍川小学校及び大沼小学校体育館解体工事の減額という部分は結構、大きな金額になりますけれども、そのあたりのことと併せて校舎とかは学校教育というか、こっちのほうの管理から町のほうに移ってしまっている。その場合、備品というものの扱いというのは一体どうなっているのかなというあたり、ちょっと教えてください。

教育次長 : まず、軍川小学校と大沼小学校体育館の解体1,200万円の減額は、入札の執行残でございます。予算を多く取っていたということです。それで1,200万円の減ということでございます。

山川委員 : 安くできたということですか。

教育次長 : そうです。予算よりは安くできたということです。

あとは、備品については、まだ全部整理がされていない状況があります。各学校には必要な備品は行き渡っていますけれども、今後、利活用した場合に旧大沼小学校については保育所が入るだとか、いろいろなケースがございますので、東大沼についても地元の都合だとか、いろいろな考えがございますので、使える備品についてはそれを使っていこうということになっていますので、今のところはその状態です。まだそれもどうなのかははっきり、どこの団体が使うとか決まっていませんので、それについては今そのまま置いているということでございます。

山川委員 : 大沼小学校のブラスバンドの楽器とかは、あれはどういうふうになっていますか。あと、軍川小学校の歴史、要するに資料室というか、あのあたりのことはどういうことになっていきそうですか。

大沼小学校のブラスバンド用の楽器というのは、まだそっくりそのまま残されているのですか。何か中学校もブラスがあったりして、楽器の融通とか、そういうのだって、もし寝かせているだけならそういったことも対応してもらえたらなと思っています。

教育次長 : まず、軍川小学校の歴史、資料室みたいなものについては、これは歴史館の学芸員等々で何かに使えないかということで下見をしていましたけれども、使えるものがないということで、そのままの状態です。

山川委員 : あれはあれですごい価値のあるコレクションですよ。だから、今、言いたいことはあっちのほうの課に移っているという話ですけども、町民の皆さんにそういったものを知っていただいて、それならそっくり何かのグループ

かで受けて、また展示しましょうかとか、みんなバラバラにしたら価値のないものになってしまうかもしれないし、だからそういういわば情報発信というか、うちの机1個、テーブルの1個ぐらい記念にほしいなど、だから、ただでくれてももちろんいいだろうし、皆さんに何百円かで買っていただいて、町の財政のために使っていただくというのも十分考えられるので、ただゴミとして処理なんか絶対しないようにしていただきたいと思います。

教育次長 : 統廃合する前の説明の中でもその話が出ていまして、教育委員会としてはまず学校優先、次は違う団体のほうに。最後に地域に解放して、ほしい物があればやらせようという案で進んでいたんですけども、今度、町のほうにそういう所管、次の利用とかになれば、それがどういうものが使われるか分からないので、全体としてそういう保留の状態です。軍川小学校だけ、これを先行して地域に開放してもらい、見てもらうということについては、ちょっとその辺は町のほうの部局と細部を相談しながら、あそこは利活用が今のところないようですけれども、そこは一括してやるべきかどうかも含めて確認したいと思います。

與田教育長 : 暫時休憩します。
休 憩

教育次長 : 大沼小学校、ブラスバンドについてはまだ多少残っている状況ですので、こちらで確認して、再度当たります。

與田教育長 : 前段の資料室の話については、教育委員会会議の中でそういうような話が出たということで、町長部局の方にも伝えておきたいと思います。

山川委員 : バラバラにしたら価値は薄れるような気がするのです。

與田教育長 : ほかに何かありますか。よろしいですか。

全員 : はい。

與田教育長 : ありがとうございます。

議案第12号令和2年度教育費補正予算に係る専決処理について御承認賜ったものとさせていただきます。

続きまして、議案第13号令和3年度七飯町教育費予算に係る専決処理について事務局よりお願いいたします。

教育次長 : それでは、議案第13号令和3年度七飯町教育費予算に係る専決処理について、提案説明申し上げます。

令和3年度教育費予算を別紙のとおり町長に提出することについて、教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則第2条第2項の規定に基づき、専決処理しましたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものでございます。

それでは、11ページの3番の資料を御覧願います。

10款教育費は、1項教育総務費から5項の保健体育費までの5項で構成されておりまして、五つの項の合計が教育費予算の合計となります。

令和3年度当初予算の合計は、6億4,332万9,000円で、令和2年度当初予算と比較すると1億2,395万7,000円の減となっております。

1項教育総務費は、当初予算1億644万2,000円で、前年度比較は2,720万5,000円の増となっております。

1目教育委員会費は、事業予算名、1の教育委員会費で、当初予算額200万6,000円で、前年比較は9万9,000円の減でございます。事業内容は、教育委員の報酬、費用弁償等が主な予算となっております。

続いて、2目事務局費は、当初予算1億443万6,000円で、前年度比較2,730万4,000円の増となっております。内訳の事業予算は、1から8までの8事業となっております。事業予算1の事務局費(学校庶務)は、

当初予算467万円で、前年度比58万3,000円の増でございます。事業内容は、教育委員会の職員旅費や事業費が主な予算となっております。

事業予算2の対外競技参加費は、当初予算額ゼロで、前年比較500万円の減となっております。これは、コロナ禍により、競技大会が実施されるのかどうか分からない状況のため、当初予算に組み入れず、大会が実施される場合は補正予算での対応とするものでございます。事業内容は、基本的には中学校の対外競技に係る補助金となっております。

なお、令和3年度より補助金の基準は見直されてございます。

事業予算3の事務局費(学校教育)は、当初予算額3,453万4,000円で、前年度比較2,907万2,000円の増となっております。事業内容は、学校教育指導主事、教育支援センター、旧適用指導教室です。これの指導員と学習と特別支援員の人件費、教職員の健康診断委託料等が主な予算で、大幅な増額の要因は従来、総務課、総務財政課で所管していた学校支援員、特別支援員、教育支援員の人件費予算が今年度から教育委員会所管の予算に移行したためでございます。

事業予算4の事務局費(教育助成)は、当初予算額123万7,000円で、前年度比30万1,000円の減となっております。事業内容は、峠下仁山地区生徒の定期券購入費や総合学習実践補助金、研究指定校補助金などが主な予算となっております。

事業予算5のスクールバス運行費は、当初予算額3,854万2,000円で、前年度比較は1,000円の減となっております。事業内容は、大沼岳陽学校児童生徒の送迎用スクールバスの委託料が主な予算となっております。台数については、スクールバスは3台、ワゴン車1台、小型タクシー1台の計5台でございます。

事業予算6の学校教育公用車管理費は、当初予算額38万9,000円で、前年度比較は11万4,000円の減となっております。事業内容は、学校教育課所管の公用車2トントラック1台と普通車1台、合計2台分の維持管理費が主な予算でございます。

事業予算7の教員住宅管理費は、当初予算656万4,000円で、前年度比較1,543万5,000円の減となっております。事業内容は、教員住宅の維持管理費が主な予算となっております。

本年度の減額の要因は、前年度、七重小学校の教員住宅1棟と大中山小学校の教員住宅1棟の合計2棟の解体工事を計上してございましたが、本年度は七重小学校の教員住宅1棟のみの解体工事となったため、前年度の差し引き等の解体工事の減額ということによるものでございます。

事業予算8のPCB廃棄物処分事業費は、新設の事業費で当初予算1,850万円、前年度比較1,850万円の増となっております。

事業内容は、教育委員会で平成13年3月から保管してある安定器等の機器、蛍光灯の安定器だとか、水銀灯の安定器、コンデンサーなど数にすれば約500個あります。重さにすれば472キロ分がございまして、これは中には高濃度のPCBが含まれている可能性がありまして、その処分期限が北海道地区では令和4年3月31日までとなっております。

このことから、仕分け、分析作業、高濃度、低濃度とかいろいろな分析があります。及びその運搬方法など行うための委託料として、今年度は1,850万円の計上ということでございます。

続いて、2項小学校費は、当初予算1億2,537万9,000円で、前年度比較1億724万4,000円の減となっております。学校管理費の事業予算は1から3までの3事業となっております。事業予算費の学校管理費(小学

校)は、当初予算額6,706万4,000円で、前年度比較238万1,000円の減となっております。事業内容は、小学校に関する維持管理費が主な予算となっております。

本年度の減額の要因につきましては、令和2年度で教師用パソコン10台を計上しておりましたが、令和3年度は完了して無しということで減額となっております。

事業予算2の児童保健衛生費は、当初予算額558万8,000円で、前年度比較12万円の減となっております。事業内容は、学校医等への報酬額が主な予算となっております。

事業予算3の校舎等営繕費(小学校)は、当初予算額3,503万1,000円、前年度比較9,216万4,000円の減となっております。事業内容は、プール含めた各小学校の施設管理委託料、工事請負費が主な予算でございます。

本年度の大幅な減額の要因は、軍川小学校体育館と大沼小学校体育館の解体工事が完了したことによるものでございます。

2目の教育振興費、事業予算1の教育振興費(小学校)は、当初予算額1,769万6,000円で、前年度比較は1,257万9,000円の減となっております。

事業内容は、小学校の各種備品や扶助費が主な予算となっております。本年度の減額の要因は、令和2年度予算では小学校で新学習指導要領が実施されることに伴いまして、教科書も新たに改訂されたので教師用の新たな教科書及び指導書を購入するため、計上していた約1,020万円ほどが令和3年度では計上不要となったことによるものです。

続いて、3項中学校費は、当初予算9,310万9,000円で、前年度比較866万2,000円の減となっております。

1目学校管理費は、当初予算7,075万5,000円で、前年度比較719万円の減となっております。事業予算は1から3までの3事業となっております。

事業予算1の学校管理費(中学校)は、当初予算4,075万7,000円で、前年度比較324万5,000円の減となっております。事業内容は、中学校に関する維持管理費が主な予算となっております。本年度の減額の要因につきましては、令和2年度で教師用パソコン15台を計上しておりましたが3年度は不要ということと、学校のサーバー、大中山中学校と鈴蘭谷分校の部分で、これも償還が終了したことによるものでございます。

事業予算2の生徒保健衛生費は、当初予算234万1,000円で、前年度比較1万9,000円の減となっております。内容は、生徒の健康診断委託料が主な予算となっております。

事業予算3の校舎等営繕費(中学校)は、当初予算額2,765万7,000円で、前年度比較392万6,000円の減となっております。内容は、中学校の施設管理委託料が主な予算となっております。今年度の減額の要因は、令和2年度で民営化した大沼岳陽学校の用務員2名計上しておりましたが、実績は1名でございました。

本年度は1名の計上となったことございまして、それと七飯中学校敷地内の支障木が去年は100万円計上していたことが、今年は無しということで減額の要因となっております。

2目の教育振興費、事業予算1の教育振興費(中学校)は、当初予算2,235万4,000円で、前年度比較は147万2,000円の減となっております。内容は、中学校の各種備品や扶助費が主な予算でございます。これにつつま

しては、減額要因と増額要因がございまして、減額の要因は各種備品は約448万円の減、パソコン教室のサーバーの償還87万円が終了したことが減額の要因で、増額の要因では中学校で新学習指導要領が実施されることから、教師用の新たな教科書、指導書を購入するため1,018万円の計上をされたということで、差し引きが147万2,000円の減ということでございます。学校教育課の説明は以上でございます。

生涯教育課長 : それでは、続きまして生涯教育課所管分の当初予算について、御説明いたします。

4項1目社会教育総務費は、当初予算額349万3,000円、前年度と比較しますと112万6,000円減となっております。事業予算は1から5の5事業となっております。事業予算1、社会教育総務費は、当初予算額35万6,000円で、前年度比2万円の減、内容は社会教育委員関係や社会教育全般を推進する事業費で消耗品費の見直しで減額となっております。

事業予算2、生涯学習事業費は、当初予算額74万3,000円で、前年度比112万8,000円の減、内容は高齢者教育、青少年育成、成人式開催などの事業で、今年度は成人式や青少年育成事業に係る予算については、新型コロナウイルスの状況を見て補正対応としたことから減額となっております。

事業予算3、町内会館振興費は当初予算額155万円で、前年度費5万円の増、内容は18ある町内会館の光熱水費等の管理運営に必要な経費の補助を行う事業で、前年度の実績額による増額となっております。

事業予算4、生涯教育公用車管理費は、当初予算額76万1,000円で、前年度比4万9,000円の減。内容は、生涯教育課で所管している公用車の管理費で燃料費等の見直しにより減額となっております。

事業予算5、社会教育施設整備基金費は、当初予算額8万3,000円で、前年度比2万1,000円の減。内容は、社会教育施設整備基金の積立金となっております。

4項2目文化振興費は、当初予算額439万1,000円で、前年度比555万1,000円の減で、事業予算は1から5の5事業であります。

事業予算1、文化振興費は当初予算額63万円で、前年度比204万5,000円の減です。内容は、文化芸術活動への支援と文化振興のための予算で、今年度につきましては新型コロナウイルスの影響もあり、文化協会への補助金を補正対応としたことから減額となっております。

次に、事業予算2、文化講座事業費は当初予算額8万6,000円で、前年度比227万円の減。内容は、公民館講座等の文化講座を開催する事業費で、各講座の報償費については新型コロナウイルスの状況を見て補正対応することから減額となっております。

事業予算3、文化祭開催事業費は、当初予算額が0円で計上されておませんが、前年度比66万3,000円の減、これにつきましても今年度の文化祭、新型コロナウイルスの状況を見て対応することから、全額補正対応ということで計上しております。

事業予算4、図書室管理費は当初予算額67万1,000円で、前年度比12万円の減、内容につきましては本町地域センター図書室、大中山コモン図書室の図書室の運営、また図書の充実のための事業費で、図書購入費の見直しなどにより減額となっております。

事業予算5、公民館管理費は当初予算額357万1,000円で、前年度比45万3,000円の減、内容は峠下藤城公民館、大沼多目的会館の管理運営のための事業費です。修繕箇所を減少により減額となっております。

続いて、4項3目社会教育施設振興費は、9,248万1,000円で、前年度比664万8,000円の減、事業予算は1から4の4事業となっております。

事業予算1、文化センター管理費は、当初予算額6,374万8,000円で、前年度比239万5,000円の減、内容は文化センターの運営、維持管理に伴う事業費となっております。燃料費の単価減及び備品購入費の見直しにより減額となっております。

事業予算2、大中山コモン管理費は、当初予算額129万円で、前年度比95万8,000円の減額。内容は、大中山コモンの運営、維持管理を行う事業費で、燃料費の単価減及び修繕箇所等の減少により減額となっております。

事業予算3、大沼婦人会館管理費は、当初予算額778万3,000円で、前年度比196万3,000円の減、内容は大沼婦人会館の運営、維持管理を行う事業費です。修繕箇所及び備品購入費の見直し等により減額となっております。

事業予算4、社会教育施設管理費は、当初予算額805万円で、前年度比133万2,000円の減、内容は大川コミュニティーセンター等14の振興会館の社会教育施設等の運営、維持管理費でございます。燃料費の単価減、支障木伐採業務の完了及び委託料の見直しにより減額となっております。

次に、4項4目文化財保護費は1,083万8,000円で、前年度比73万2,000円の減、事業予算は二つの事業費となっております。

事業予算1、文化財保護費は当初予算の104万4,000円で、前年度比12万6,000円の減、内容は文化財保護活動推進のための事業費で、学芸員協力報償費や史跡管理委託料の見直しなどにより減額となっております。

事業予算2、歴史館管理費は当初予算額979万4,000円で、前年度比60万6,000円の減。内容は、歴史館の管理運営を行う予算で、燃料費単価及び修繕箇所の減少により減額となっております。

以上、社会教育費は合計で1億1,120万3,000円で、前年度比1,405万7,000円の減額となっております。生涯教育課所管分については以上です。

スポーツ振興課長： それでは、スポーツ振興課の予算について御説明いたします。

5項1目保健体育総務費は、本年度予算が4,436万2,000円で、前年度比マイナス2,096万6,000円となっております。

1番のスポーツ振興総務費でございますけれども、内容はスポーツ推進委員への報酬だとか負担金支出という部分です。本年度予算が284万4,000円なので、前年度比マイナス571万3,000円となります。減額の主な理由は、負担金で大沼湖畔駅伝開催負担金、こちらがゼロになっております。それと、スポーツ振興補助金、こちらもゼロになっております。これは、駅伝は実施する場合は予備費対応ということになりまして、スポーツ振興補助金につきましては、こちらは出てくるのが6月末くらいからということで、それまでの間に補正して大会に参加するまでに補助金を支出するというような内容でございます。

続きまして、スポーツ合宿事業費、こちらにつきましては、事業団の陸上の団体の誘致、それからサッカーの川崎フロンターレ誘致というものに使われるものでございますが、本年度予算ゼロということになっております。これも、新型コロナウイルスの感染症の状況を見ながら実施する場合は補正していくと、ほとんどゼロですから、必ず補正することになります。

続きまして、3番体育施設公用車管理費、こちらは公用車の管理になりますけれども、本年度予算額56万9,000円で、前年度と比べて29万1,0

00円の減額ということでございます。こちらについては、公用車が3台ありまして、車検が1台分減になるということで、減額が29万1,000円ということになっております。

続きまして、4番の体育施設管理費、こちらにつきましては体育施設の管理、大中山地域体育館ですとか、トルナーレだとか、そちらの維持管理を行う事務費ということになります。本年度予算が3,257万7,000円で、前年度比較マイナス1,292万9,000円ということになります。こちらにつきましても、プールに屋根かけるといいますか、今、骨組みみたいになっていまして、それを覆う天蓋、そちらの取り付け取り外し委託料ということで、これを115万円ほどあるのですが、これがゼロということになります。これについては、去年はプール中止になりましたけれども、今年が大丈夫であれば、これも補正対応ということでいく予定でございます。

需用費につきましては、燃料費の単価減で需用費が288万3,000円の減額ということになっております。それから、工事請負費が前年度が工事請負費で652万2,000円あったのですが、それが工事が終わったということで減額になっております。合わせて、先ほど申し上げましたように1,292万9,000円の減額ということになります。

続きまして、5番のパークゴルフ場指定管理費、こちらにつきましては指定管理者、パークゴルフですね、本町と大中山がありますけれども、こちらの指定管理費ということで、指定管理者に対し委託料を今現在は、今回、本年度予算は837万2,000円で、36万円ほど増えておりますけれども、パークゴルフ場のスタート、最初に打つときのマット、それを全部のコース、18ホールこちらの部分を用意するというので36万円の増となっております。

スポーツ振興課所管については、以上になります。

給食センター長 : 続きまして、学校給食センター所管分について御説明いたします。
2目学校給食費、事業予算は学校給食センター運営費のみとなっております。当初予算1億6,283万4,000円で、前年度比較23万3,000円の減額です。事業内容は、主に学校給食センターの維持管理と運営に係る経費となっております。
説明は以上でございます。

與田教育長 : 以上、少し時間取りましたが新年度の予算について説明をさせていただきました。これにつきましては、明日、本会議に上程をして、特別委員会の中で審議をしていただくという形になっております。

イベント関係の予算につきましては、新型コロナウイルスの関連があって、全て前年度と比べて大幅に減になっておりますが、実施できるという状況になれば補正予算で全て対応するという事になっております。そういうことを踏まえて、御意見、御質問等があればお受けしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

加屋本委員。

加屋本委員 : 教育総務費の2番、事務局費の一番最後、新設されたPCB廃棄物処理って、すごい量だと聞いていたんですけども、こういうのは町内の業者とかで処理は可能なのですか。

教育次長 : これにつきましては、専門の処分業者になりまして、北海道では苫小牧が唯一処分する場所があります。そこが令和4年3月で閉鎖ということで、今度は岐阜とか、あっちのほうになってしまいますので、運搬費とか倍になってきますので、何とか予算をつけて今年処分するという事です。

與田教育長 : あとはいかがですか。

加屋本委員 : もう一ついいですか。教員住宅の管理費についてですけれども、前ちょっと聞いていたような気がするのですけれども、現在、生きている教員住宅ってどこどこにあるのか、現実に使われている教員住宅。

興田教育長 : 今の段階では、まず東大沼にある1棟2件、それから岳陽学校にある1棟2件、それから峠下小学校にある校長住宅1棟1件、それから藤城小学校にある住宅1棟2件、それから大中山中学校にある校長住宅1棟1件。
それと、七重小学校の校長が借り上げ住宅としてあります。それから大中山小学校の校長住宅も借り上げ住宅であります。大中山中学校の公宅については、相当古いので、ここについては恐らく今年度いっぱい廃止になる予定であります。
基本的な考え方は、大沼地区についてはそのまま公営住宅、それから峠下地区については、教頭住宅は廃止をしました、通勤でやっていただいております。ただ、地域からの要望で、校長住宅については残してほしいということなので、結構老朽化しているのですけれども、そこを修繕をしながら対応していきたいというふうに思っております。藤城については藤城小学校の校長、教頭住宅というよりは、七飯中学校区でもありますので、今は藤城小学校の教頭と七飯中学校の教頭が入っております。
七飯小中、大中山小中については、借上住宅についても基本的には廃止をしていきたいということで考えております。
今回の議会でも支障がないのかという御意見がありました、これら全て警備会社に委託しておりますので、その辺についてはこの間、支障が出ておりません。財政的な問題も含めて考えると廃止をするということできたいと。ただ、藤城以降については、居住地が函館の方、あるいは北斗の方が多いので、その辺については建てたばかりというのもありますので、今のまま継続していったほうが当面はいいだろうなということで考えております。
以上です。

興田教育長 : ほかによろしいですか。

全員 : はい。

興田教育長 : では、議案第13号令和3年度七飯町教育費予算に係る専決処理については、御承認賜ったものとさせていただきます。
続きまして、議案第14号令和3年度公立小中学校職員の人事異動内示について、今日、お手元に配付をさせていただきます。1件ずつはやりません。管理職を中心に御説明をさせていただきます。定数の増含めて御説明いたします。

【人事案件につき、会議録省略】

興田教育長 : 以上、雑駁で簡単に御説明いたしました、詳細につきましては後ほど御覧いただければなと思います。人事案件でございますので、質問、意見はないと思いますが、これだけは聞いておきたいというものがあれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

全員 : はい。

興田教育長 : ありがとうございます。

以上で、令和3年度公立小中学校職員の人事異動内示について承認賜ったものとさせていただきます。

以上をもちまして、令和3年第3回定例七飯町教育委員会会議を終了いたします。ありがとうございました。